

関東東山病害虫研究会報 第70集 (2023年12月)
目次

報 文
病 害 の 部

(イネ・ムギの病害)

水稻の種子伝染性病害に対する温湯処理条件と催芽時処理条件の防除効果の比較……………中島宏和 1

(畑作物・野菜の病害)

リアルタイム PCR によるサツマイモ基腐病菌検出法の改良……………月居佳史・井上康宏・藤川貴史 9

Fusarium vanettenii によるスペインカンゾウ株枯病 (新称) ……佐藤豊三・吉永実記・五十嵐元子・埋橋志穂美・芝野真喜雄 15

土壌くん蒸剤によるレタスコルキール病の防除効果……………石山佳幸 19

コマツナ白さび病に対する品種間の感受性差異……………山内智史 23

夏どり作型のネギ黒腐菌核病に対するピラジフルミド水和剤のセル成型育苗トレイ灌注処理を活用した効果的な防除技術
……………井上 浩・竹元 剛・佐古 勇・西村 昭・福田侑記 26

(果樹の病害)

Fusarium sacchari によるバナナ株腐病 (新称) の発生……………坂本 彩・久保田まや・本橋慶一 33

Direct-LAMP 法によるニセナシサビダニおよびダニ内のナシ葉退緑斑点随伴ウイルスの検出
……………鈴木良地・神山光子・上遠野富士夫・久保田健嗣 37

(花卉・花木・樹木の病害)

東京都で発生した *Colletotrichum theobromicola* および *C.siamense* によるワックスフラワー炭疽病 (新称)
……………久保田まや・河本夏実・岩本千絵・尾崎梨花・廣岡裕史 41

八丈島における *Pseudocercospora paullula* (Syn. *Puccinia paullula*) によるモンステラさび病 (新称) の発生
……………坂本 彩・埋橋志穂美・星 秀男・久保田まや・堀江博道・柿嶋 真 48

(研究手法)

ドローンの空撮画像を活用したコンニャク栽培圃場における倒伏株割合の推定
……………池田健太郎・飯塚弘明・佐藤吉雄・星野啓佑・新井美優・大澤剛士 53

虫 害 の 部

(イネ・ムギの虫害)

イネカメムシの発育に対する温度の影響……………八塚 拓・平江雅宏・菌部 彰・小林則夫 57

長野県における前年の発病株率またはヒメトビウンカの保毒虫率に基づくイネ縞葉枯病の要防除水準
……………阿曾和基・高野 萌・若林秀忠・栗原 潤 61

異なるカラー粘着トラップにおけるイチモンジセセリの誘殺状況……………平江雅宏・石崎摩美・石島 力 65

(畑作物・野菜の虫害)

イネ科作物の国内栽培品種で飼育したツマジロクサヨトウの発育の比較……………村田未果・飯田博之・田中彩友美・水谷信夫 71

神奈川県川崎市におけるネオニコチノイド剤の効果が劣るワタアブラムシの発生……………白川純蓮・栗田瑠夏・中村晃紳・糸山 享 75

ワサビ苗に寄生するモモアカアブラムシに対する各種薬剤の防除効果……………片井祐介・小高宏樹・久松 奨 78

タバコカミカメのバンカー植物としてのスイートアリッサムの評価……………三浦早貴・矢野栄二 81

(茶の虫害)

埼玉県入間地方における蛍光灯トラップによるコガネムシ類の捕獲消長～30年前と現在～……………小俣良介・宮田穂波 86

(果樹の虫害)

ブドウ「シャインマスカット」におけるチャバネアオカメムシの被害と果実袋による被害軽減効果……………内田一秀・綿打享子 90

第69回研究発表会講演要旨

病 害 の 部

神奈川県ピーマンへの感染が確認された TZSV の性状調査および検出方法の確立……………島田涼子 94

千葉県における夏どりネギの葉身腐敗症状の原因について……………中田菜々子・大川佳織・大谷 徹 94

千葉県におけるベノミル耐性サツマイモつる割病菌の発生と防除薬剤の探索……………青木 由・中田菜々子・島田 峻・大谷 徹 94

茨城県におけるレタス根腐病菌レース3の発生……………秋元拓己・井上麻里子・小河原孝司 94

コマツナ萎黄病に対する感受性の品種間差……………富田有理・久保田まや・小野 剛 95

山梨県におけるトマト葉かび病レース検定および薬剤の効果査定……………鈴木雄介・村上芳照 95

シメコナゾール粒剤によるクワイ火ぶくれ病の防除……………酒井和彦 95

ビロ白紋羽病発生跡地におけるフルアジナム水和剤土壌かん注処理の効果の持続性	鐘ヶ江良彦・高橋真秀・久保周子	95
福島県における梅雨期以降のニホンナシ「豊水」果実の黒星病に対する感受性	藤田剛輝	96
トウモロコシすす紋病発生予察プログラム「すす紋病注意報」の作成	岡部郁子	96
長野県におけるコムギ赤さび病の品種、発病時期、気象に基づく発生リスク評価	中島宏和・島上卓也	96
ピラジフルミド（パレード®）に関する研究（第16報）定植前根部浸漬処理によるネギ黒腐菌核病に対する防除効果発現様式の解析	坂田 恵・竹元 剛・山下真生・宇賀博之	96
群馬県の秋冬ネギの黒腐菌核病に対する生育期の防除体系	池田健太郎・新井美優・星野啓佑	97
高温性病害の防除剤施用がネギ黒腐菌核病の発生に与える影響	伊代住浩幸・高橋冬実・金原菜見	97
神奈川県におけるネギ類の黒腐菌核病発病リスク低減のための管理手法の検討	岡本昌広・島田涼子・折原紀子	97

虫 害 の 部

イネカメムシに対する有効薬剤の検討	八塚 拓・菌部 彰・小林則夫	98
有効積算温度によるツマグロヨコバイ成虫の発生時期の予測	平江雅宏	98
長野県におけるイネ縞葉枯病の防除要否判定目安	阿曾和基・高野 萌・若林秀忠	98
露地ナスのアザミウマ類に対する各種物理的防除法，土着天敵誘引方法の効果比較	大林隆司	98
「赤色防虫ネット」を被覆・育苗したトマト苗はアザミウマ類に対する密度抑制効果を示す	大矢武志・阿部弘文・廣橋寿祥・安部 洋	99
夏秋どりいちごにおけるスワルスキーカブリダニと光反射ネットを併用したアザミウマ類防除について	岩田直樹	99
「あきらめが悪い」タイリクヒメハナカメムシ系統における有効性の評価とさらなる改良	世古智一・村上理都子・勝野智也	99
施設ナスでのワタアブラムシ防除のためのニホンアブラバチバンカーの試み	光永貴之・村上理都子・石崎摩美・勝野智也・長坂幸吉	99
抑制トマトにおけるタバコカスミカメ苗放飼を用いたコナジラミ類防除	加藤直樹・窪田直也・手塚俊行・小原慎司・一志貴斗・小河原孝司	100
神奈川県におけるトマト抑制栽培の総合防除体系の検討（第2報）	大谷友洋・大矢武志	100
施設栽培キュウリにおけるポタニガード ES によるコナジラミ類とうどんこ病の防除効果	村上理都子・上野豪俊・窪田昌春	100
ウスモンミドリカスミカメの多発生とレタス被害の発生の可能性	河名利幸・久保周子・上野瑞代・平山遼太	100
緑肥作物によるニラのネダニ類に対する密度抑制効果の検証	小林 佑・春山直人・若槻睦子	101
群馬県のニラハウス栽培におけるネギネクロバネキノコバエの発生消長について	星野航佑・菊池優以・横山 薫・池田健太郎	101
茨城県の露地ナス圃場に発生するクワコナカイガラムシに対する各種薬剤の効果	窪田直也・角田 隆・小河原孝司	101
子実トウモロコシにおけるジアミド系殺虫剤のアワノメイガ被害抑制効果	石島 力・平江雅宏	101
トウモロコシアザミウマ（仮称）(<i>Frankliniella williamsi</i> Hood) の発生生態と薬剤感受性	渡邊正明・鈴木 誠・野村 研	102
埼玉県入間地方における蛍光灯によるコガネムシ類の捕獲消長～30年前と現在～	小俣良介・宮田穂波	102
イブキ盆栽におけるネグサレセンチュウ防除のための薬剤処理方法	宇賀博之・井上玲子	102
国内外来種ケブカトラカミキリ幼虫に対する材内部への防除手法の検証	高橋 玄・梶浦真衣・武田 藍・大谷 徹・加藤正広	103
東京都利島村のツバキ圃場におけるヨコヤマヒメカミキリの発生生態調査	加藤綾奈・押野任志・木下沙也佳・大井田寛	103

そ の 他

関東東山地区に新たに発生が確認された病害虫（2022年度）		104
本会記事		106
英文目次（CONTENTS）		108
関東東山病害虫研究会報投稿規程，執筆要領		110
関東東山病害虫研究会賛助会員		113